



運動場側より昇降口を見る。昇降口は、正面玄関～運動場を自由に行き来できるように教室棟を縦断するように配置した



昇降口ホール。ハイサイドライトを設けて明るいホールを実現

志摩市立 波切小学校 | 設計 前野・西沢特定建築設計共同企業体

波切小学校は志摩市大王崎灯台の近く、水平線を見渡す高台にあります。新校舎は、既設の広大な運動場と渡り廊下で繋ぐ屋内運動場との『つながり』を重視し、ユニット型の教室配置ではなく、中廊下型の教室配置としました。また校舎をL字型で配置することで、ほとんど全ての教室から運動場やデッキテラスといった屋外スペースに出ることができます。屋外スペースで繰り広げられる児童の賑やかな活動と、各教室のすぐそばに設けられた色とりどりの花が咲きそろう学級園によって、活気と潤いのある小学校が実現できました。さらに、デッキテラスは、災害時には避難所としての収容・運用能力を考慮したスペースとしても利用できます。

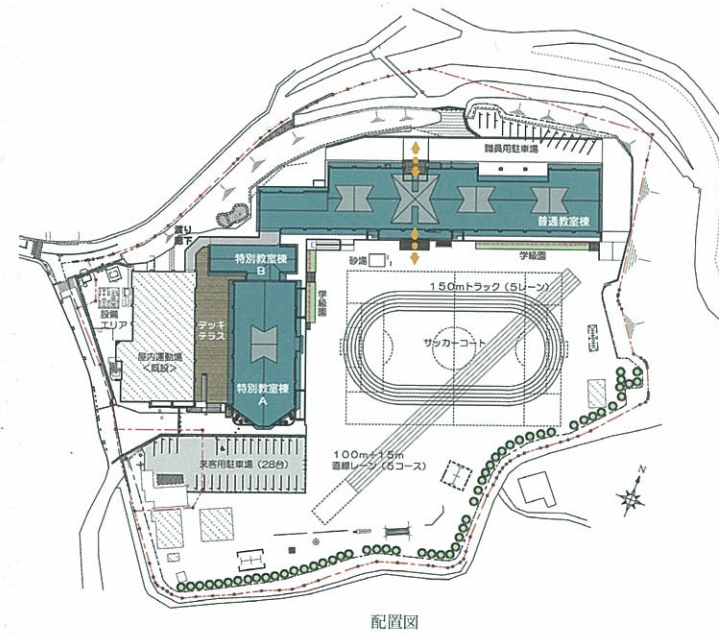
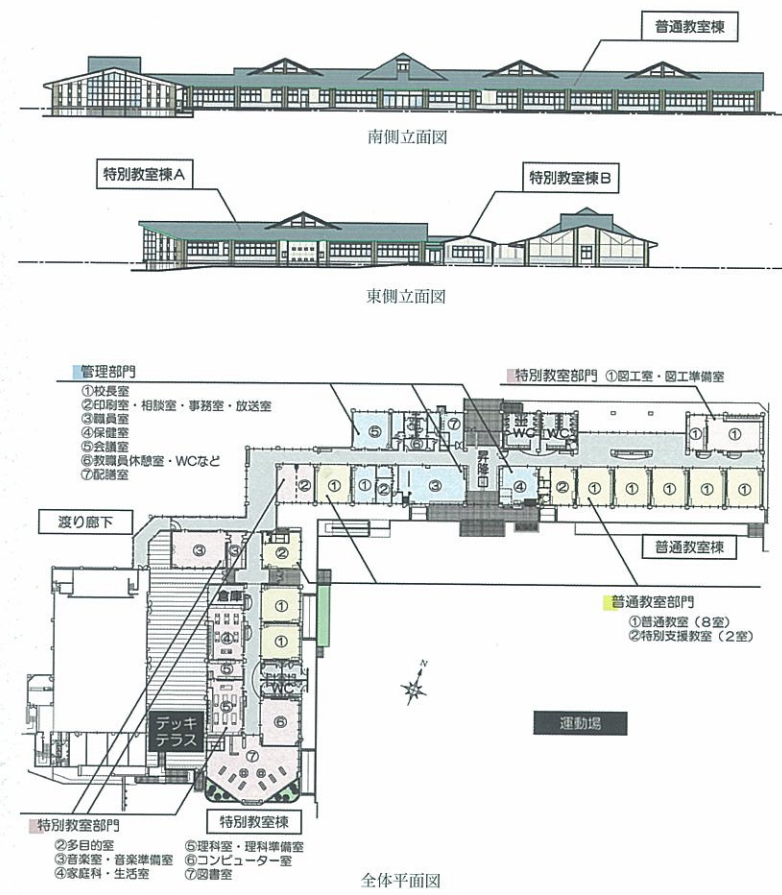
立面計画は、敷地の気候条件からアプローチしました。本校舎は眼下に熊野灘を望む敷地条件であるため、台風到来時だけでなく、平時においても海からの風雨が厳しいことから、新校舎は横からの風雨を受ける面をできる限り小さくすることが可能な、平屋建・切妻屋根の校舎としました。切妻屋根の新校舎は、海や緑豊かなこの敷地環境に昔ながらの日本の小学校を再現し、ふるさとへの想いが集う小学校として、シンボルである大王崎灯台と共に新しい歴史を刻む校舎でありたいと考えています。

(前野建築設計/前野将輝)

所在地	三重県志摩市大王崎波切 877-3	建築面積	3,516.32㎡
建築主	志摩市	延床面積	3,148.20㎡
施工	建築：石吉・坂下 JV 電気：シンフォ・東山 JV 機械：前橋・向原 JV	構造・規模	RC造 平屋
敷地面積	22,127.24㎡	竣工	2013年3月
		備考	監理：日新・ナカムラ・瀧鼻 JV



左|普通教室棟。各教室前には、運動場と建物との段差を利用した学級園 中|特別教室棟。南側には図書館を配置。そこからは南側の太平洋を一望できる 右|特別教室棟と既設屋内運動場間に整備したウッドデッキテラス。災害時には屋内運動場と連結し、避難所としての運用が可能



図書室。広い空間は開架書庫を放射状に配置することを可能に



普通教室棟の廊下。ハイサイドライトの採用により、明るさを実現



普通教室前のお遊びの広場。多目的に使用できる空間



普通教室。廊下との一体感をガラスのパーティションによって実現



児童用WC。掃除のしやすさを考慮し、点在化ではなく、全学年使用の大きなWCに